

米国バイオ&テクノロジー株オープンの運用状況

米国バイオ&テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

2018年5月14日

米国バイオ&テクノロジー株オープンでは、米国のバイオテクノロジー、情報技術（IT）、先端技術製品、サービステクノロジー等の各分野の株式を買い付け、ポートフォリオを構築しています。

本レポートにおいては、米国の利上げペースの加速に対する見方と、情報技術セクターとヘルスケアセクターの業績動向についてお伝えします。

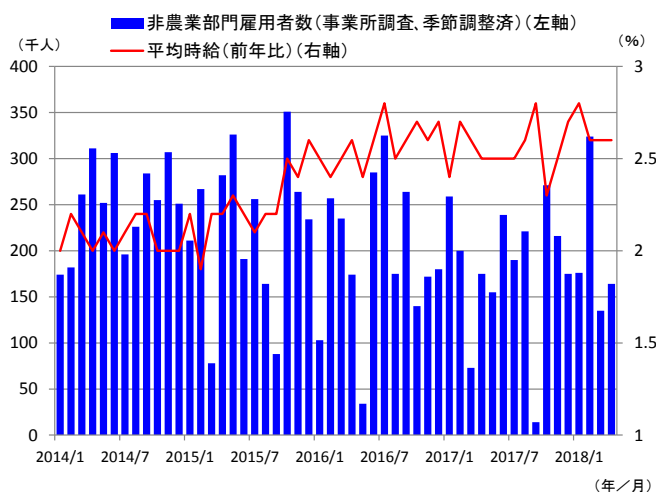
【米国の利上げペース加速に対する警戒感足元で後退】

足元において米連邦準備制度理事会(FRB)による利上げペースが加速するとの懸念が高まる中、米国の10年国債利回りが4月下旬、約4年ぶりに3%を超えました。

しかし、4月の非農業部門雇用者数は前月比164千人増と市場予想(同193千人)を大きく下回ったほか、4月の平均時給の伸び率は前年比2.6%増と市場予想(同2.7%増)を下回る結果となりました。

米国経済の堅調さを踏まえると物価を巡るリスクは今後も残るものの、現段階では賃金インフレの兆候に乏しいと考えられることから、追加利上げに対する警戒感が株式市場に及ぼす影響は当面は限定的であると考えます。

**米国の非農業部門雇用者数（前月比）と
平均時給（前年比）（2014年1月～2018年4月、月次）**



【情報技術セクターにおいて業績見通しの上方修正が続く】

S&P500株価指数構成銘柄の予想EPS(1株当たり利益)成長率は、2018年1-3月期は前年比+23.51%、2018年4-6月期は同+19.70%になると見込まれています。

当ファンドの主な投資対象となる情報技術セクターとヘルスケアセクターの状況を見ると、情報技術セクターは半導体やソフトウェア・サービスに携わる企業を中心に、業績見通しの上方修正が続いており、多くの企業の業績が好調に推移しています。ヘルスケアセクターに関しては、医療機関の投資増加などを背景に、ヘルスケア機器に関わる企業の業績が堅調に推移しています。

S&P500株価指数構成銘柄の情報技術セクターとヘルスケアセクターの予想EPS成長率（5月5日現在）

セクター	2018年1-3月期		2018年4-6月期	
	4/7 時点	5/5 時点	4/7 時点	5/5 時点
情報技術	24.7%	↑ 33.0%	25.4%	↑ 28.6%
半導体	30.8%	↑ 40.8%	25.6%	↑ 28.5%
ソフトウェア・サービス	26.3%	↑ 37.8%	29.3%	↑ 34.4%
テクノロジー・ハードウェア機器	17.7%	↑ 20.0%	17.6%	↓ 17.3%
ヘルスケア	9.4%	↑ 14.7%	9.8%	→ 9.8%
ヘルスケア機器・サービス	11.9%	↑ 17.9%	13.9%	↓ 13.0%
医薬品・バイオテク・ライフサイエンス	8.0%	↑ 12.8%	7.4%	↑ 7.9%
S&P500	17.0%	↑ 23.5%	19.4%	↑ 19.7%
S&P500（除く金融）	16.5%	↑ 22.8%	19.2%	↑ 20.0%
S&P500（除くエネルギー）	15.3%	↑ 22.0%	16.8%	↓ 16.8%

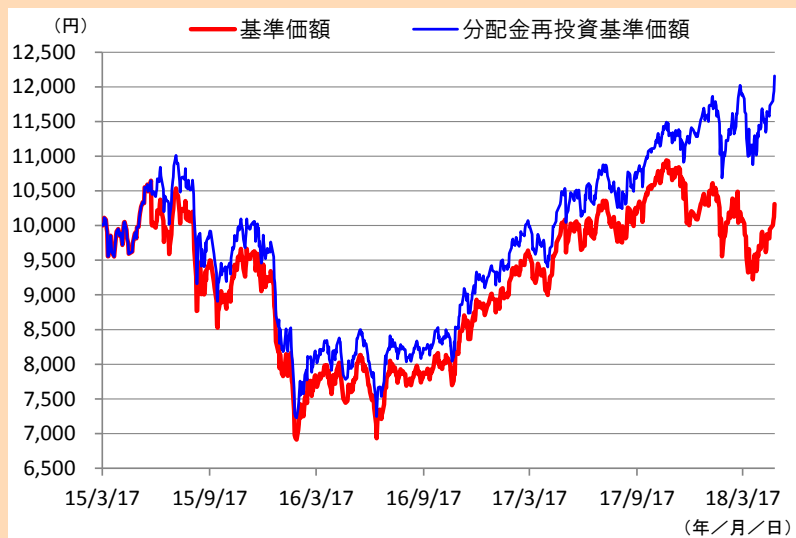
(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成
※予想EPS成長率が4月7日から5月5日にかけて上方修正されたセクターを↑、下方修正されたセクターを↓で表示

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国バイオ&テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国バイオ＆テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

運用状況（作成基準日 2018年5月10日）

設定来の基準価額推移
(2015年3月17日～2018年5月10日)

ファンドデータ(5月10日現在)	
基準価額(円)	10,309
残存元本(百万口)	2,549
純資産(百万円)	2,628
株式組入比率(%)	90.1
現金比率(%)	9.9
組入銘柄数	46

セクター別組入比率(5月10日現在)	
ソフトウェア・サービス	44.1%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	12.8%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	11.8%
半導体・半導体製造装置	9.1%
ヘルスケア機器・サービス	6.5%
小売	5.9%

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。 ※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。
※分配金再投資基準価額は、2015年3月17日を起点として算出しております。 ※各比率はマザーファンドを通じた実質組入比率です。
※2015年6月9日に1万口当たり450円（税引前）、2017年6月9日に1万口当たり50円（税引前）、2017年12月11日に1万口当たり650円（税引前）、2018年3月9日に1万口当たり550円（税引前）の分配をそれぞれ行っています。他の決算日には分配を行っておりません。

【今後の株式市場の見通しと運用方針】

当面の米国株式市場は、対中国を中心とする通商政策の不透明感が残るものの、良好な景気環境や多くの企業の業績が好調に推移していることを背景に、徐々に戻りを試す展開に移ると予想します。政策面では、トランプ大統領が保護主義的な通商政策を導入することにより、世界経済の先行きが鈍化すると懸念が残ります。一方、企業業績面では、米国企業の2018年と2019年の業績見通しは、好景気や税制改革による恩恵を受けて、上方修正される傾向が続いています。企業が株主還元拡大や合併・買収(M&A)を積極的に行うとの期待も株価の支援材料になると考えます。

当ファンドの運用につきましては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドからの投資助言を参考に、投資環境や業績動向などを勘案して銘柄選別を行い、組入れを行います。当面の運用方針としては、情報技術セクターに関しては、海外売上比率が高いことによって通商政策の悪影響が懸念される一部の大型株を売却する一方、ソフトウェア・サービス株を中心に中小型株の投資比率を引き上げる方針です。ヘルスケアセクターに関しては、医療機関の業務管理システムなどを手掛ける銘柄を買い増す一方、業績見通しが相対的に弱い医薬品株の投資比率を引き下げる方針です。

以上

(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国バイオ＆テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

米国バイオ & テクノロジー株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.782%（税抜1.65%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
高木証券株式会社	近畿財務局長(金商)第20号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			

※岡三にいがた証券株式会社は、2018年5月21日から取扱い開始です。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)